

飾 保 郡	保 郡	崎 郡	城 郡	計
痘 瘡 發 生 狀 況				
(年齡別、性別)				
年 齡 別				
性 別				
患 者				
死 者				
年 齡 別				
性 別				
患 者				
死 者				
年 齡 別				
性 別				
患 者				
死 者				
年 齡 別				
性 別				
患 者				
死 者				

年 齡 別	性 別	患 者	死 者	年 齡 別	性 別	患 者	死 者
二 才 未 滿	女 男	2	0	六 才 未 滿	女 男	0	0
三 才 未 滿	女 男	1	0	七 才 未 滿	女 男	0	0
四 才 未 滿	女 男	1	0	八 才 未 滿	女 男	0	0
五 才 未 滿	女 男	1	0	九 才 未 滿	女 男	0	0
計	計	5	0	計	計	0	0

三、防疫措置

三原郡ニ痘瘡ノ發生ヲ見ルヤ引ツキ飾磨、排保ニ病毒ノ傳播ヲ見タルヲ以テ本縣ニテハ四月二十六日兵庫縣令第二十九號ヲ以テ種痘法第十五條ニヨリ臨時種痘施行ノ縣令ヲ公布ス  
縣令左ノ如シ

兵庫縣令第二十九號

明治四十二年四月法律第三十五號種痘法第十五條ニ依リ痘瘡豫防ノ爲臨時種痘ヲ行フ。  
種痘ヲ受クベキ者ノ範圍及期日ハ告示ヲ以テ指定ス

昭和三年四月二十六日

同四月二十六日兵庫縣令第二十六七號ヲ以テ飾磨町高濱村手柄村居住者ニ對シ臨時種痘施行ノ旨指定セリ、同時ニ排保郡龍野町ニモ臨時種痘施行ノ旨指定セラレタリ  
兵庫縣知事 長 延 連

兵庫縣告示第二百六十七號

昭和三年四月兵庫縣令第二十九號ニ依リ臨時種痘施行ノ範圍及期日左ノ通指定ス

昭和三年四月二十六日

兵庫縣知事

長

延

連

第一、施行地域

一、飾磨郡飾磨町、高濱村、手柄村

第二、種痘ヲ受クベキモノ、範圍

第三、施行期日 四月廿七日ヨリ五月十日ニ至ル

右ノ如ク指定セラレタルヲ以テ同日檢發第七三號ヲ以テ飾磨町長、高濱、手柄、兩村長及龍野町長宛ニ臨時種痘施行ノ件通牒ス、同時ニ衛通第七號ヲ以テ飾磨、龍野兩警察署長ニ對シ、臨時種痘施行ニ付當該町村長ト協力實施スベキヲ通達セリ  
又檢發七二號ヲ以テ各市町村長ニ宛テ痘瘡豫防警戒ニ關スル件依命通牒ヲ發シ、飾磨、排保兩郡ニ患者續發シ病毒ハ既ニ廣ク傳播シ居ルヤモ計ラズ且全國各地ノ流行蔓延ノ際ナレバ交通關係、其他物件ヲ介シテ侵襲ノ虞アル狀況ナルヲ以テ其ノ警戒ニ一段配慮ノ必要アルベキ旨ヲ指示タリ(別項、檢發第七三號)同ジク檢發七四號ヲ以テ内務大臣宛、縣令布告ノ件ヲ報告セリ(別項檢發第七三號)  
此ノ如ク通牒ニツグニ通牒ヲ發シ各郡市町村ハ警察ト協力シテ極力本病豫防ニ當レルモ、病毒ノ侵襲ノ範圍ハ之ヲ豫測スルヲユルサズ何時何地ニ發生ヲ見ルヤ保シ難キ情勢ナレバ同四月廿六日廳内ニ於テハ各課長宛ニ號外ヲ發シ四月廿六日ヨリ五月十日マデ(日曜祭日ヲ除ク)午前九時ヨリ午後四時迄衛生課細菌檢査所ニテ衛生課技術員ヲシテ廳内各課在職關係者ノ種痘ヲ施行スベキヲ通知セリ  
又檢發第七五號ヲ以テ各警察署長宛ニテ豫防ノ第一線ニ立ツ警察官並ニソノ家族ニ對シ臨時種痘ヲ行ハシムベク配慮アリタキ旨通牒ヲ發シタリ(別項通牒參照)

之モ同ジク四月廿六日ヲ以テ公立中學校長宛、檢發第七十六號ヲ以テ臨時種痘ニ關スル件通牒ヲ發シ全國ノ發生狀況及本縣ニ於ケル病毒傳播ノ情勢ヲ審カニシ、此際職員、生徒及學校關係者ニ於テモ相警メテ臨時種痘ヲ實施サレタキ旨通報セリ、而シテ一方ニ於テハ市内衛生組合等ヲ督勵シ一般市民ニ對シ種痘ヲ勵行センメタリ、此ノ折柄醫師會ニ於テハ種痘ノ無料施行ヲ計畫シ、市内各開業醫ハ一齊ニ施行ヲ開始シソノ豫防實施ニ協力セリ  
痘苗ニツイテハ四月廿五日、電報ヲ以テ傳染病研究所へ痘苗送附ノ件ヲ照會シ、同廿八日ヲ以テ先ツ五萬人分ノ痘苗送附ヲ受ケ、尙北里研究所、天兒研究所ヨリモ相續キテ購入シ、衛生課ニ於テハ實費ヲ以テ、市町村、各學校、各開業醫、病院、其他、各會社工場等ニ之ヲ交附シ防疫措置ノ進捗ニ

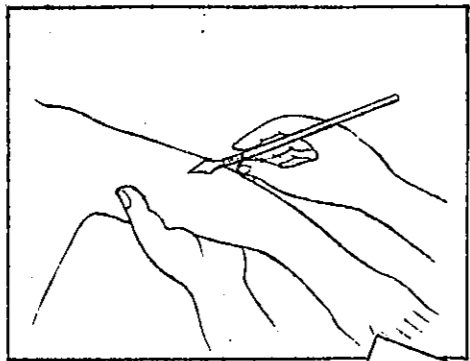
遺憾ナキヲ期シタリ

當時海外ニ於テモ、神戸港ト交通頻繁ナル孟買、カルカッタ、蘭貢、香港等愈々發ノ傾向アリテ香港ハ初發以來七十餘名ヲ數ヘ尙續發セル旨、通報アリシニ鑑ミ、四月廿七日衛發第一九九號ヲ以テ神戸税關長宛ニ痘瘡豫防ノ爲輸入物品取締リニ關スル件照會セリ、即チ本年六月一日ヨリ實施セラレ、所ノ鑑ミ、古綿類消毒ニツキ各國領事ノ證明ナキ物ヲ發見シタル場合ハ念ノ爲水上警察署長ニ通報ノ旨ヲ依頼セリ(別項衛發寫參照)而シテ同日衛發第二〇〇號ヲ以テ水上警察署長ニ對シ輸入物品取締リニ關シ、税關長ニ照會シタル件ニ關シテ尙遺漏ナキ事ヲ期シ若シ税關長ヨリ通報アリタル場合ハ當衛生課ヘ即報ノコトヲ指示シタリ(別項衛發寫參照)

此ノ如ク、内外ニ對シテ防疫措置ヲ嚴ニシ其ノ侵襲ニ備フルト雖モ、二十三日ニ飾磨、二十五日ニ揖保、廿八日ニ川邊、ト續發ノ傾向アリ、且其ノ範圍ハ西ニ東ニ突發的ニシテ病毒潛入ノ漸ク擴キテ恐レシムル刻下ノ狀況ナルヲ以テ、各自相警シメテ豫防方法ヲ講ゼシムルコトハ本病豫防上最モ緊要ナルヲ以テ發生府縣名ヲ示シ且豫防標語ヲ表シタル痘瘡豫防宣傳ポスター五千枚ヲ印刷シテ四月二十八日檢發第七十八號ヲ以テ各市町村長及各警察長ニポスター配布ノ件通報シ之ヲ一般公衆ノ交通場所及集合場所ニ掲示セシメタリ

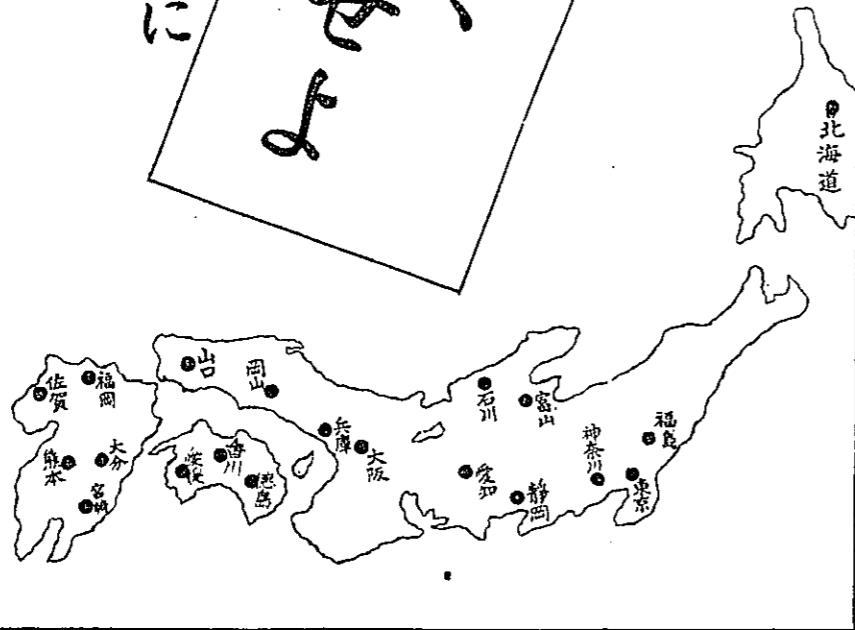
署痘瘡豫防宣傳ポスター左ノ如シ  
而シテ痘瘡發生ノ度毎本縣令第二九號ニモトヅキ告示ヲ以テ臨時種痘ノ施行ヲ命ジ市町村長警察署協力シテ之ヲ勵行セシメタリ、即臨時種痘指定町村及施行成績左ノ如シ

豫防は今！



もれなく  
種痘せよ

痘瘡は全國に  
蔓延す



兵庫縣

臨時種痘指定町村及施行成績

昭和三年

指定期間	指定町村	現住人員	種痘人員	摘要
自五月二十七日至四月三十日	飾磨郡飾磨町	11,501	10,131	現住人員ヨリ種痘人員ノ多キハ隣接地住民ノ接種セシニヨル 種痘人員多キハ他町村ヨリ通學學生ノ接種セシニヨル 川池女學校所在地
同	同 高濱村	2,310	2,140	
同	同 手柄村	2,882	2,740	
同	揖保郡龍野町	6,480	7,700	
自五月三十一日至五月十五日	川邊郡伊丹町	11,252	11,000	
同	城崎郡日高町	7,192	6,652	
同	武庫郡魚崎町	6,922	6,911	
同	神戸市上澤通一丁目	4,977	4,977	
同	同 二丁目	4,760	4,760	
同	同 三丁目	4,687	4,687	
同	同 四丁目	4,687	4,687	
同	同 松本通一丁目	1	1	
同	同 二丁目	4,687	4,687	
同	同 三丁目	4,687	4,687	
同	同 四丁目	4,687	4,687	
同	同 下澤通二丁目	4,687	4,687	
同	同 三丁目	4,687	4,687	
同	同 四丁目	4,687	4,687	
同	同 中道通二丁目	4,687	4,687	
同	同 三丁目	4,687	4,687	
同	同 四丁目	4,687	4,687	
同	同 大井通一丁目	4,687	4,687	
同	同 二丁目	4,687	4,687	
同	同 三丁目	4,687	4,687	
同	同 四丁目	4,687	4,687	



指定期間	指定町村	現住人員	種痘人員	摘	要
自五月廿九日	神戶市中山手通八丁目	一、九三三	一、七五〇		
同	同 山本通五丁目	一、〇五五	二、三三三		
同	同 下山手通五丁目	五、〇五五	八、五五五		
同	同 同 六丁目	一、一七〇	一、一五五		
同	同 同 再 度 筋	一、八〇〇	八、五五五		
同	同 同 楠 谷 町	一、四〇〇	三、三三三		
同	同 同 花 岡 町	二、四〇〇	一、四〇〇		
同	同 同 御崎本町一丁目	五、〇〇〇	四、九〇〇		
同	同 同 同 二丁目	二、〇〇〇	二、一〇〇		
同	同 同 同 三丁目	一、〇〇〇	一、六六六		
同	同 同 御崎町一丁目	三、〇〇〇	三、六〇〇		
同	同 同 同 二丁目	二、〇〇〇	一、六〇〇		
同	同 同 仲 町五丁目	三、〇〇〇	三、一〇〇		
同	同 同 同 六丁目	八、〇〇〇	八、〇〇〇		
同	同 同 多田通七丁目	四、〇〇〇	四、〇〇〇		
同	同 同 同 八丁目	三、七〇〇	三、七〇〇		
同	同 同 六番町七丁目	一、三〇〇	一、三〇〇		
同	同 同 同 八丁目	二、四〇〇	二、四〇〇		
同	同 同 五番町七丁目	二、八〇〇	二、八〇〇		
同	同 同 同 八丁目	三、九〇〇	三、九〇〇		
同	同 同 四番町八丁目	三、九〇〇	三、九〇〇		
同	同 同 西須磨川端町	二、〇〇〇	二、〇〇〇		
同	同 同 同 下海田	二、六〇〇	二、六〇〇		
同	同 同 同 新 田	三、三〇〇	三、三〇〇		
同	同 同 同 東 町	五、八〇〇	五、八〇〇		
同	同 同 川 邊 郡 小 田 村	三、四〇〇	三、二〇〇		
合 計		一四〇、九三三	一〇二、三三三		

十二月三日ニ於テ兵庫縣令第五十四號ヲ以テ茲ニ臨時種痘施行ノ爲公布セシ本縣令第二十九號ヲ廢止サレ、同日衛發第五三〇號ヲ以テ臨時種痘施行ニ關スル縣令廢止ノ件ヲ内務大臣ニ報告ス

又衛發第五三一號ヲ以テ縣下各警察署長ニ對シ前記縣令廢止ノ件通報セリ  
尙本縣ニ於テ購入シ各市町村及醫師會、各團體へ交付シタル痘苗ハ其數十九萬三千二百五十人分ニ及ビ臨時種痘施行人員八十萬四千二百十三人ヲ算セリ

併シ此ノ總數ハ臨時種痘指定地ノ成績統計ナルヲ以テモトヨリ全縣下ノ種痘人員ト見ルコトアタハズ。痘苗ノ交附數ヨリ推定スル時ハ少クトモ凡二十萬人ノ人員ハ本年度ニ於テ種痘ヲ行ヒタルモノト認メラル。

### 第二項 ペスト豫防

#### 一、「ペスト」豫防ニ關スル概況

本縣ハ外航船舶ノ出入頻繁ナル大神戶港ヲヒカヘ常ニ「ペスト」ノ續發セル東洋ノ諸港灣及諸都市トノ交通亦密接ニシテ何時病毒ノ侵襲ヲ蒙ルヤ圖ラズ、其豫防施設ノ遂行何如ハ我國貿易上甚大ナル影響アルヲ以テ常ニ當局ハ茲ニ留意シ「ペスト」豫防ニ就テハ特ニ重要ナル施設ノ一トシテ緊密ニ行ヒツ、アリタリ、即チ神戸、尼崎、西宮ノ各市及洲本、由良、兩町ニ於テ常ニ鼠族ノ細菌學的検査ヲ實施シ居リ、其數毎年四十五萬頭内外ニ達シ居レリ

然ル所昭和三年秋冬ノ期ニ於テ御舉行アラセラルベキ御大禮ニ關シ、三月廿八日内務省發衛第二八號ヲ以テ御大禮衛生施設事項ニ關スル件依命通牒アリテ、「ペスト」豫防ニ就テハ之ガ徹底ヲ期シ必要ナル地域ニ於テ鼠族驅除、並ニ之ガ細菌學的検査ヲ緊切ニ勵行スベキコトヲ示シ來レリ。之ヲ以テ本縣ニ於テハ先ヅ「ペスト」豫防ニ關係アル實地狀況ノ總テヲ仔細ニ觀察スベキ必要アルヲ認メテ直ニ左ノ調査事項十一項ヲ定メテ防疫主任菅田警部補主トナリテ水上署衛生主任及防疫監吏等協力シテ之ヲ詳細ナル調査ニ着手シタリ

- 其ノ調査事項左ノ如シ
- 一、海外入港船舶ノ數及繋船並ニ荷上狀況
- 二、最近三ヶ年ニ於ケル輸入品目及輸入地方
- 三、船舶煙蒸ノ狀況
- 四、繋船岸壁ノ狀況

- 五、繫船時ニ於ケル防鼠施設
- 六、岸壁地帯ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況
- 七、岸壁地帯ニ沿ヒタル地ノ上屋倉庫及溝渠等ノ狀況(第二號ノ建物ノ大小及所屬等ノ圖面)
- 八、前二號ノ範圍ニ沿ヒタル一般狀況
- 九、税關方面ニ於ケル防鼠施設ノ現狀
- 一〇、府縣ノ關係地帯ニ於ケル防鼠施設(買収、檢鏡等ノ狀況)
- 一一、税關及府縣ノ防鼠施設並ニ鼠族驅除ニ關スル今後ノ方針意見
- 各員奮勵努力シツツ微ニ入り細ニ入りテ只管遺漏無カラシムコトヲ期シツツ約一週間ニ於テ各事項ノ調査成績ヲ得タリ、即左ノ如シ
- 一、神戸港ニ入港セル船舶數

昭和二年 度	内航船	二、九七九隻	七、四二六、三二九噸
	外航船	一、一五七隻	五、六九八、五〇八噸
昭和三年 二月末迄	内航船	二、二六六隻	六、五〇、五五〇噸
	外航船	一、〇四隻	五〇一、六五〇噸

- 二、外航船舶輸入貨物數
- 昭和二年 度 五七七四、七九一噸
- 昭和三年 二月末迄 三一一、二八九噸
- 三、外航船繫船並ニ荷上狀況

(イ) 繫船ハ浮標、投錨、岸壁ノ三種類ニ依ル碇船ニシテ主トシテ客船ハ第一、第二、第三、第四ノ各突堤ニ繫留シ、貨物船ハ東神、高濱、和田棧橋ノ各岸壁及棧橋並ニ港内浮標ニ繫留スルモノ第二、第三、第四ノ各突堤ニハ時ニ貨物船モ繫留スルコトアリテ判然タル區別ナシ。

(ロ) 荷上狀況  
海外ヨリ入港スル船舶中孟買、甲谷、蘭實、ジャバ方面ノ航路船ニ對シテハ入港ト同時ニ瓦斯ヲ注入シ以テ捕鼠ヲ行ヒ其ノ發散ヲ俟ツテ即チ普通三四時間經過後ニ於テ荷役ニ着手ス、凡テ船舶荷役ニ付テハ沖合及浮標碇船ハ舢舨ニ積卸ヲナシテヨリ目的倉庫或ハ目的地方ニ直接曳船シ岸壁繫留船ハ税關倉庫若クハ個人倉庫ニ運送ス  
近時倉敷料其他費用節減ノ爲相當容量ノ貨物ハ荷主ニ於テ舢舨ヲ雇ヒ本船ヨリ積卸スト共ニ直チニ需用地ニ向テ曳船スルモノ多キ趨勢ナリ

四、輸入品目及輸入地方  
作業ハ主トシテ晝間ニ行ヒ出帆時間等ノ都合ニ依リ荷役料金ノ増加ヲ厭ハザル場合ハ夜間ニ於テモ行フコトアリテ一定セズ  
上海方面ヨリ來ル貨物船ハ消毒ノ事アリ、着船ト同時ニ荷役ヲ開始スルヲ以テ積載貨物ノ種類ニヨリ多少ノ相違アレド普通半日位ニテ荷役ヲ終了ス

(イ) 輸入品目(注意スベキモノ)  
糧糶、古綿、古魚網、糸屑類、古着類、古紙類、古革皮類、古羽毛類、古敷物類、古麻袋類、古帳簿類、古書籍類、硝花綿、蒲團類、印度綿花、支那綿花

(ロ) 輸入地方  
天津、青島、大連、上海、旅順、廣東、香港、福州、漢口、重慶、基隆、打狗、カルカッタ、孟買

五、船舶煙蒸狀況  
港務部檢疫所ニ於テ定期検査、特別検査並ニ海港檢疫法令ニ該當ノ事實アリタル時若クハ船舶ヨリ申請アリタル場合等ニ隨時煙蒸瓦斯消毒ヲ施行シ居リテ其ノ方法ハ硫黃煙蒸瓦斯ヲ併用ノ三種ニテ昨年及本年ノ成績左ノ如シ

(イ) 昭和二年 度

煙蒸隻數	一五五隻	捕鼠數	一〇七七頭
------	------	-----	-------

(ロ) 昭和三年 度

一月	十七隻	捕鼠數	七九頭
二月	十八隻	同	八五頭
三月	十五隻	同	二五頭

六、繫船岸壁ノ狀況  
現在四ヶノ突堤ト東神倉庫、高濱倉庫、三菱倉庫ノ岸壁並ニ和田棧橋トヨリナリ和田棧橋ヲ除ク外ハ「コンクリート」造リニシテ和田棧橋ハ木造ナリ  
棧橋並ニ岸壁ニハ常ニ捕鼠ヲ行ヘドモ鼠族ハ常ニ棲息シ居リテ其間隙所ニ散見ス  
七、繫船時ニ於ケル防鼠施設  
陸地下船トノ鼠族交通ヲ防グ爲陸地ニトレル四本乃至六本ノ「ロープ」ニ「ラットカード」ヲ備付ケ若クハ「コールタール」ヲ塗布シ以テ防

鼠ヲナス様ナシ居レルモ近來確實ニ勵行サレザル状態ニテ照門燈ヲ點ジ居レル外、何等ノ施設ナク防鼠施設ハ目下遺憾ナガラ充分ナラザルコト多シ

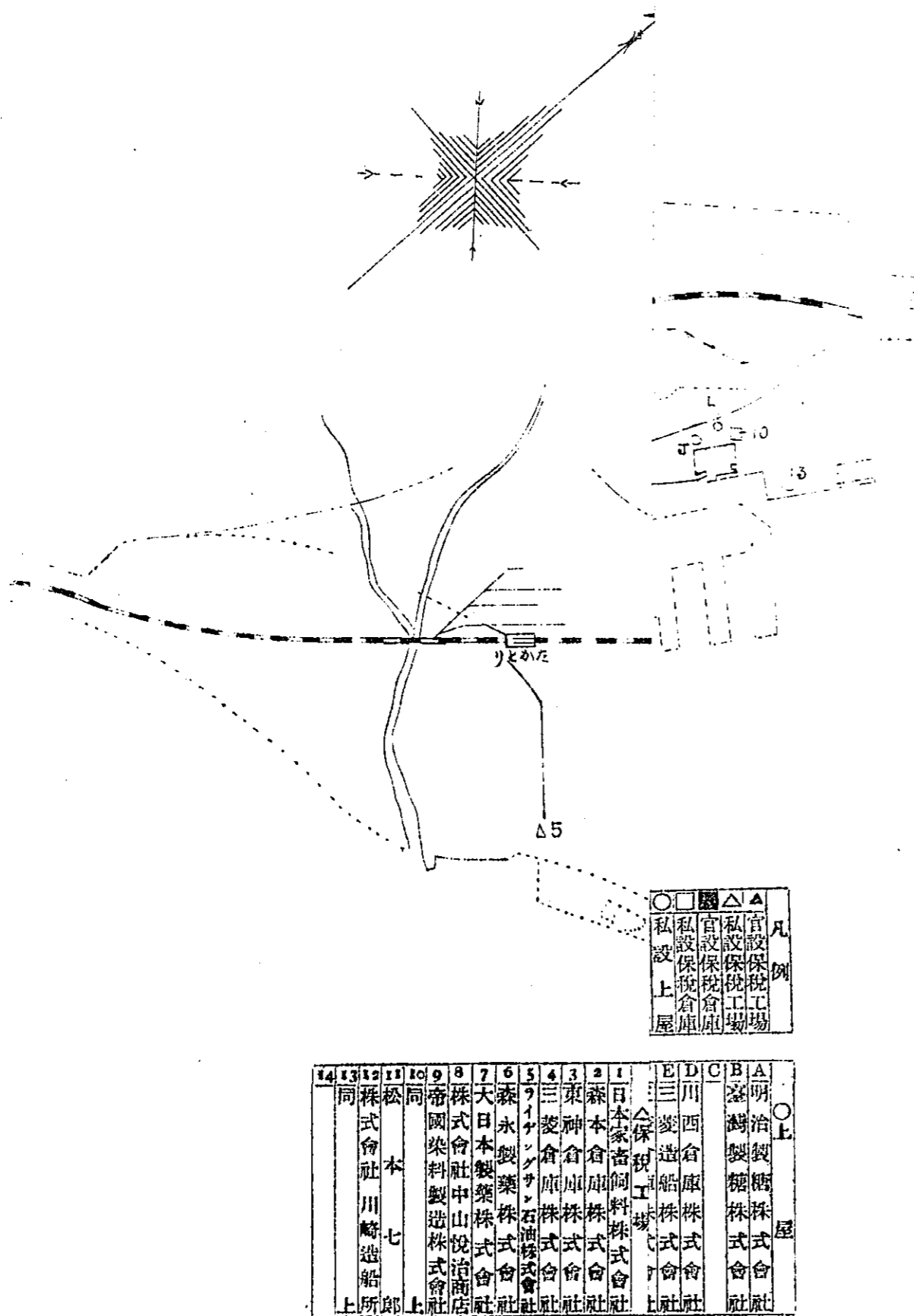
八、岸一帯ノ上屋倉庫ト溝渠等ノ状況

倉庫ハ別紙添附圖面ノ通りニシテ倉庫ノ周圍ニハ排水溝渠アルモ凡テ暗渠ニテ鼠族棲息ス、除鼠方法トシテ神戸市役所ヨリ捕鼠人夫ヲ配置シ海岸一帯ニ涉リ捕鼠器ヲ使用シテ常ニ捕鼠ニ従事シ居レル外各倉庫ニモ數人ノ捕鼠人夫ヲ備ヒ除鼠ヲ勵行シ居レリ

九、神戸水上署ニテ發行セル鼠券數

昭和二年度 九、七七六  
昭和三年三月迄 二、六四八

主ナル倉庫ヲ示シタル略圖及參考諸表左ノ如シ







本縣沿海水上生活者ノ種類及人數

種別	性		戸	阪	神	間	神	戸	以	西	淡	路	計
	男	女											
汽船乘組員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
帆船々々	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
艇船々々	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
沖仲仕	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
濱仲仕	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
鑑船行商人	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
塵船々々	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
砂利人夫	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
漁夫	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
生魚行商	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
通船々々	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
漁夫家族及沿海住民	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100
合計	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100	100

備考 日本海沿岸ヲ除ク

在新加坡國際聯盟保健部週報

自三月廿五日 一週間  
至三月卅一日

「ベスト」發生狀況

昭和三年四月六日  
內務省衛生局 第十三報

港名	患者	死者	港名	患者	死者
スエズ	七	三	コロンボ	四	二
アデン	一五	一	スラバヤ	一	一
孟買	一	一	盤谷	一	一
關丹	一	一			

(明治四十二年十月)  
兵庫縣令第五號

鼠族驅除ノ設備ニ關スル件

- 第一條 本令ニ於テ建造物ト稱スルハ家屋倉庫納屋工場厩舎其他鼠族ノ交通又ハ棲息シ得ベキ凡テノ工作物ヲ謂フ
- 第二條 「ベスト」豫防上警察官署ニ於テ必要ト認メタル建造物ノ所有者又ハ管理者ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ其ノ建造物ニ對シ防鼠施設ヲナスベシ
- 第三條 防鼠施設ヲ爲シタル建造物ニ接近シテ鼠族ノ棲息シ得ベキ若クハ其ノ交通ヲ容易ナラシムベキ物件ヲ置キ又ハ堆積スベカラズ但警察官署ノ許可ヲ得タルモノハ此ノ限ニアラズ
- 第四條 防鼠施設ニ破損ヲ生ジタルトキハ建造物ノ所有者又ハ管理者ハ直ニ之ヲ修復スベシ
- 第五條 防鼠施設ヲ爲シタル區域内ノ居住者ハ常ニ防鼠施設ヲ保全スベシ
- 第六條 前項ノ居住者防鼠施設ニ修復ヲ要スベキ箇所アルヲ發見シタルトキハ速ニ之ヲ家屋ノ所有者若クハ管理者ニ通知シ又ハ當該吏員ニ届出スベシ
- 第七條 防鼠施設ニ變更ヲ生ズベキ工事ヲサントスルトキハ所轄警察官署ニ届出テ認可ヲ受クベシ
- 第八條 防鼠施設ヲ爲シタル區域ノ居住者ハ鼠族ノ食料トナルベキ食品殘片等ヲ凡テ覆蓋アル容器ニ蒐集スベシ
- 第九條 前項ノ容器ニ蒐集シタル食品殘片等ハ塵芥容器外ニ投器スルコトヲ得ズ
- 第十條 防鼠施設ヲナシタル區域内ノ居住者ハ當該吏員ノ指示ニ從ヒ常ニ鼠族ノ驅除ヲ爲スベシ
- 第十一條 防鼠施設ヲ破壞若クハ損傷タルモノハ拘留若クハ科料ニ處シ尙其ノ修復ヲ命ズルコトアルベシ
- 第十二條 第三條乃至第七條ニ違反シタルモノハ五圓以下ノ科料ニ處ス

附 則

- 第十一條 第三條乃至第十條ノ規定ハ市町村ノ爲シタル防鼠施設及本令發布以前ニ於テ爲シタル其他ノ防鼠施設ニ關シテモ之ヲ適用ス
- 第十二條 前條ノ規定ハ當分ノ内神戸市ニ之ヲ適用ス
- 第十三條 本令ハ發布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

二、「ベスト」豫防施設實施狀況

此ノ如キ綿密ナル基礎調査ヲ得タルヲ以テ四月十日日本縣警察部長室ニ於テ御大禮ニ關シ當地方擔任ナル內務省衛生局加藤防疫官ヲ始メ、井上兵庫縣警察部長、岡田本縣衛生課長、伊庭野神戸市衛生課長及芦田防疫主任、三宮、相生橋、水上各署長等會合シ御大禮防疫施設ニ關シ協議會ヲ開キ、調査シタル詳細ナル狀況ヲ陳述シコレヲ基礎トシテ「ベスト」豫防ニツキ左ノ協議事項ヲ決定シ翌四月十一日ニ於テ衛發第一七七號ヲ以テ內務省衛生局ヲ始メ三宮、相生橋、水上各警察署長、神戸市衛生課長、港務部防疫課長へ協議決定事項ノ詳細ヲ通報セリ

協議決定事項

一、警戒區域ニ關スル件

右ハ便宜上四區ニ分テタリ

- (1) 第一警戒區域ハ直接外航船舶ニ關係アル地帯トス
- (2) 第二警戒區域ハ第一警戒區域ニ直接關係アル地帯トス
- (3) 第三警戒區域ハ神戸市鐵道以南ニシテ前二項ニ該當セザル地帯トス
- (4) 第四警戒區域ハ神戸鐵道以北ノ地帯トス

二、除鼠ニ關スル件

- (1) 第一警戒區域ニ對シテハ殺鼠劑ノ配布、捕鼠器ノ配置、瓦斯除鼠法ヲ勵行セシメ特ニ高濱倉庫、東神倉庫等ノ大倉庫ニハ專任捕鼠人夫數名ヲ常設スルヤウセシムルコト
- (2) 第二警戒區域ハ市役所ヨリ配置セル人夫ヲシテ殺鼠劑ノ配布及捕鼠ヲ勵行セシム
- (3) 第三、第四警戒區域ニ對シテハ宣傳其他ノ方法ニヨリ捕鼠ヲ勵スルコト
- (4) 外航船舶ニ對シテハ港務部ニテ從來施行シツツアル方法ヲ勵行シテ除鼠ヲ行フコト
- (5) 内航船舶及舢舨内ノ除鼠方法ハ水上署ニテ督勵スルコト

三、防鼠設備ニ關スル件

- (1) 各關係警察署ニ於テ現在倉庫ノ防鼠設備ノ現状及收藏物品ノ種類等變更ナキヤ否ヤニ就テ調査視察スルコト
  - (2) 外航船舶ノ鼠返シノ設備及取締ハ港務部ニテ勵行スルコト
  - (3) 内航船舶ノ鼠返シニ就テハ水上署ニテ取締ルコト
  - (4) 岸壁ノ防鼠設備ヲ修理スルコト
- 四、檢案及細菌調査ニ關スル件
- (1) 檢案並ニ細菌檢査ヲ從來ヨリモ一層勵行スルコト
- 五、蚤ノ驅除及試験ニ關スル件
- (1) 倉庫ノ清潔方法ヲ勵行スルト共ニ必要ノ場所ニハ蚤取粉、又ハ「クレゾール」水ヲ撒布ス

尙必要ニ應ジ「モルモット」ヲ放置シ「ケオビス」ノ檢査ヲ行フコト

右豫防方針ヲ確定シタルヲ以テ防鼠捕鼠ヲ徹底セシメントスルニ就テハ倉庫ノ狀況ヲ仔細ニ觀察シ以テソノ不備ヲ改善セザルベカラズ、故ニ先ヅ茲合、三宮、水上、相生橋及ビ兵庫署ニ令シ縣衛生課防疫監更及衛生主任、各署勤務ノ防疫監更之ニ協力シ一齊ニ倉庫狀況ノ調査ヲ進メタリ。

即チ、A地帯(沿海地區)ニ所在スル倉庫、B地帯(沿海地區ニ隣接スル地區)ニ在ル倉庫、C地帯即チ沿岸地區ニ遠ザカリ居ルモ外國貨物ヲ當該船舶ヨリ第一ニ主トシテ收納スル倉庫ノ三ツニ調査範圍ヲ定メ、概シテ前記倉庫ハ穀類、豆類、有機性肥料、等鼠ノ食料トナリ得ル物件並ニ綿花類ヲ收納スル倉庫ニツキ調査スルコトニ定メ、又上屋倉庫ニツキテハ別表トシテ倉庫ニ準ジテ調査スルコトトナセリ、即チソノ要項ハ左ノ如シ

- 一、所 在 地
- 二、所 有 者
- 三、棟 數、坪 數
- 四、收納貨物ノ種類
- 五、構 造

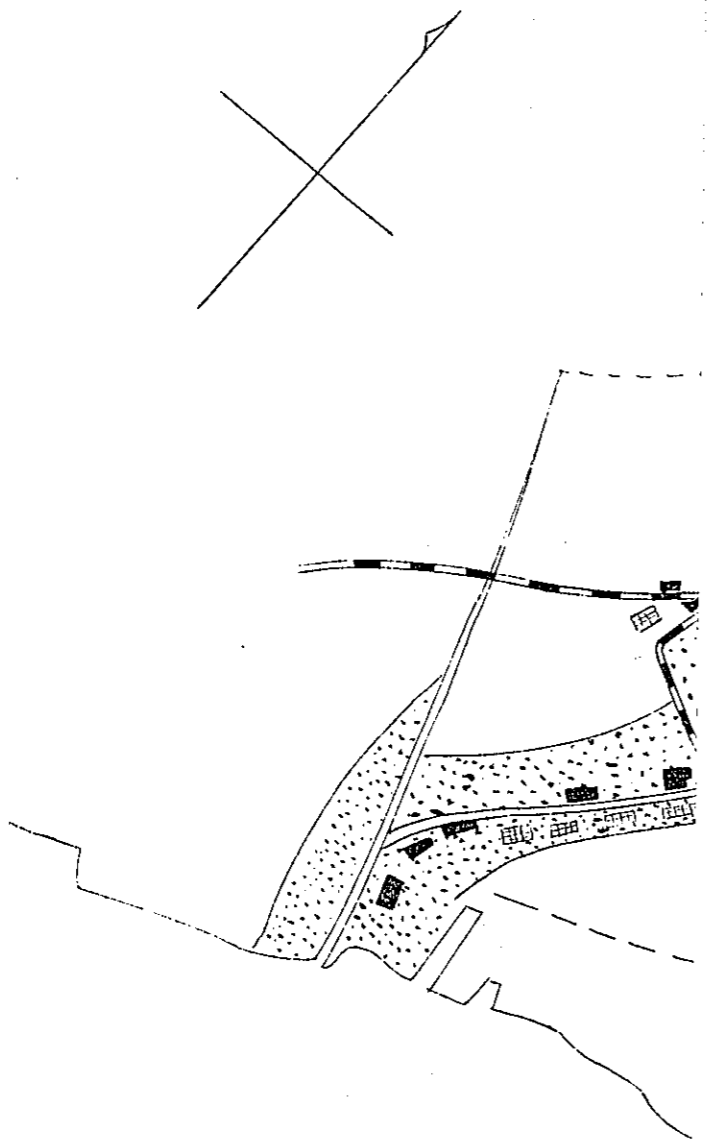
防鼠設備ノ完否ヲ標準トシ左記ノ區別ニ依ルコト

甲、防鼠設備完全ナルモノ

乙、防鼠設備大体完全ナルモノモ破損其他ニヨリ鼠族棲息交通ノ虞アルモノ

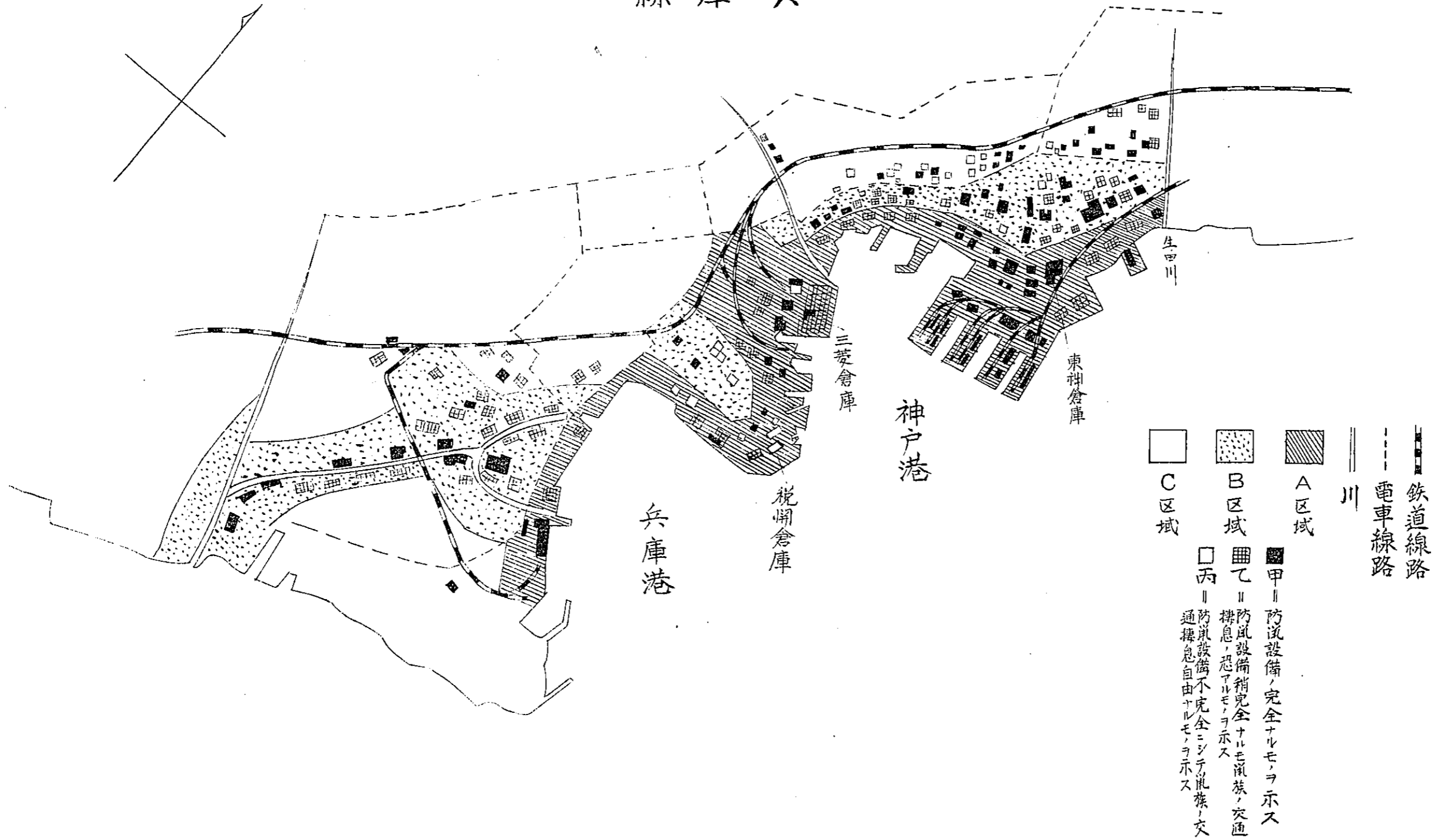
丙、防鼠設備不完全ニシテ鼠族ノ棲息交通自由ナルモノ

「ハスト」豫防施設設計圖左ノ如シ



# トス豫防施設設計圖

昭和三年六月  
兵庫縣



倉庫調査表

署名

所有者	所在地	棟數	坪數	收納貨物種類	構造

備考 ABCノ區域毎ニ甲乙丙各別表トスルコト

此ノ如キ要項ニテ調査シタル結果ヲABCノ各地帯ヲ色別ケトシ且ツ倉庫ノ甲乙丙モ同ジク色別ケトシテ明示シタル倉庫地圖ヲ作ラシメタリ、茲ニ於テ葦合、三宮、水上、相生橋、兵庫管内ノ倉庫調査圖ヲ得タルヲ以テ衛生課ニ於テハ之ヲ綜合シ「ベスト」豫防施設計劃圖ヲ作製印刷シテ内務省ヲ始メ各關係署ニ之ヲ配布スルト共ニ豫防ニ從事スル者ニ各一部ヲ分チテ計畫ノ遂行ニ遺算ナカラシメタリ。

而シテ綜合ノ結果ハ倉庫總數二千〇六十六棟、坪數二十五萬二千餘坪及住家一萬六千餘戸ト算セラレタリ。

一方ニ於テ右ノ如ク基礎的調査ヲ遂ゲツツアル間ニ五月五日ヲ以テ「ベスト」豫防計劃ヲ詳細披露シ内務省衛生局ニ對シ防疫職員ノ増員ニツキテ依頼協議スル所アリ、而シテ此ノ協議ノ結果六月四日檢發第一三九號ヲ以テ内務大臣ニ對シ「ベスト」豫防施設遂行ニ要スル防疫職員ノ増員ヲ稟請セリ（別項通達寫、參照）

此クシテ六月十四日内務省兵衛第一二五號ニテ醫、四名、防疫監吏十二名ノ増員ヲ見、翌六月十五日内務省兵衛十二號ヲ以テ防疫醫二名、防疫監吏二四ノ増員アリタリ、此ノ如ク醫及監吏ノ増員アリタルヲ以テ着々豫防實施ニウツルベク班ノ編成等夫々計畫シツツアル間、神戸市ニ對シテモ協力ヲ求ムベキ必要アリ以テ六月十五日檢發第一五〇號ヲ以テ神戸市長宛ニ通牒ヲ發シタリ、即、市吏員八名及人夫三十四名ヲ派出シAB地帯内住家、一萬六千五百廿八戸ニ配布スル殺鼠劑ノ調製方ソノ他ニツキテハ照會シタルモノナリ（別項通達寫參照）

而シテ、班ノ編成、人員ノ配置、除鼠作業ノ方法等其ノ方針略定マリタルヲ以テ六月廿三日衛通第二一號ヲ以テ前記ノ各警察署長ニ對シ糞ニ協定計畫シタル「ベスト」豫防施設實施ニ關スル件通達シ（別項通達寫參照）神戸市長ニ對シテモ同ジク衛發第二〇九號ヲ以テ「ベスト」豫防實施ノ件通牒セリ（別項通達寫參照）

同廿六日ニ於テ再ビ神戸市衛生課長、三宮、相生橋、兵庫、水上、各署長及衛生主任ヲ警察部長室ニ召集シ井上警察部長、岡田本縣衛生課長、影本

警務課長、中山衛生技師、芦田防疫主任列席シテノ如キ除鼠作業ノ期間、及其ノ方法、班ノ編成ニ關スル件ヲ細目ニ互リテ懇談協議ヲ遂ゲ總テヲ決定シタリ。

尙「ベスト」防疫ニ就テハ萬般ノ施設ヲ完全ニ實施スベキ爲ニ追加豫算二八、九二七圓ヲ計上シテ、之ヲ主トシテ「ベスト」防疫「一部ハ腸チフス豫防疫ニ當テタリ」ノ遂行ニ當テラレタリ（第五篇第一項、檢疫費及追加豫算ノ項参照）

除鼠作業ノ期間方法、班ノ編成ニ關スル件

(A) 殺鼠劑ニ關スル件

一、倉庫及絆ニ使用スル殺鼠劑ハ本廳ニテ製造シ各署ニ配給ス

二、各署ニテハ本廳ヨリ配給ヲ受ケタル殺鼠劑總代金ヲ倉庫業者ヨリ徴收納付ノコト

三、各署長ハ豫メ倉庫業者絆業者ニ說示シ置キ倉庫ノ坪數ニ應ジ倉庫所有者若クハ戸所有者ヨリ徴收スルコト

四、住家ニ配布スル殺鼠劑ハ本廳又ハ市役所ニテ調製配給ス

五、住家ニ使用スル殺鼠劑ノ調製費ハ市役所ニ於テ負擔ス

六、警察署長ハ倉庫業者ニ對シ捕鼠器ノ配置及其ノ係設置ヲ指示スルコト

(B) 防鼠設備ノ改善ニ關スル件

一、鼠族驅除ノ設備ニ關シテハ明治四十二年、本縣令第五〇號ニヨリ改善ヲ督勵スベキモ今、直ニ改善修理シ難キモノニアリテハ漸ヲ追フテ改善セシムルコト

改善セシムルコト

(第一號表)

殺鼠劑配付及探鼠班配置表ノ一

兵 庫 縣

計	A			B			C			計			住家戸數	殺鼠劑回數	同總數	同費用	配付班數	防疫監吏數	捕鼠班數	防鼠監吏數
	棟數	坪數	量	棟數	坪數	量	棟數	坪數	量	棟數	坪數	量								
一、六二	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇	一、五〇
二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七	二、七
三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三	三、三
四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一	四、一
五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一	五、一
六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一	六、一
七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一	七、一
八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一	八、一
九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一	九、一
十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一	十、一
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

備考

- 一、神戸港沿岸地區ニテ外航船舶ノ直接繫留又ハ貨物ノ陸揚收藏等最モ緊要ナル地域ヲAトシ之レニ隣接シテ必要ナル地域ヲBトシ、鼠族ノ食料ヲリ得ル物品又ハ棉花等ノ外國貨物ヲ當該船舶ヨリ第一次ニ主トシテ收納スル倉庫所在地域ヲCト定メ別紙圖面ニヨリ區分ス
- 二、本事業ハ七月二日ヨリ十一月末日マデ實施ス
- 三、殺鼠劑配付標準ハ倉庫一〇坪ニ付十粒宛、住家一戸ニ付一回五十粒宛トス
- 四、一班ノ組織ハ防疫監吏一、警察官一（又ハ市吏員一）人夫二名トシ防疫監吏十七名、警察官九名、市吏員八名、人夫三十四名ヲ以テ十七班ヲ編成ス
- 五、一班一日ノ作業能率ハ倉庫ニ在リテハ五、〇〇〇坪、住家ニ在リテハ一〇〇〇戸ニ殺鼠劑ヲ適宜ニ配付シ且ツ前日配付セシ如上區域ノ探鼠ヲ行フモノトス
- 六、殺鼠劑ハ一萬個ニ付二四五十錢亞硫酸劑ヲ標準トス
- 七、捕鼠班ハ現在市内各署ニ配置セル八班中ヨリ七班ヲ充當シ（一班ハ防疫監吏一名人夫二名）監吏七名人夫一四名ニテ毎日捕鼠器一七五〇箇ヲ使用シテ下水倉庫特種營業家屋等ノ捕鼠ヲ行フ

各警察署別殺鼠劑配付調査表

署別	倉庫			上屋			住家			第二類船			計
	棟數	坪數	量	棟數	坪數	量	戶數	數量	隻數	數量	數量		
三宮署	六五	一、八〇八	一、八〇八	一	一〇	一〇	七	七	一	一	一	一、八二六	
相生橋署	六五	一、八〇八	一、八〇八	一	一〇	一〇	七	七	一	一	一	一、八二六	
兵庫署	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一〇	一〇	七	七	一	一	一	一、〇一七	
水上署	一〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一	一〇	一〇	七	七	一	一	一	一、〇一七	
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	

備考

製造所別 縣廳（倉庫、絆ノ分） 三貫三九六匁  
市役所（住家ノ分） 五貫六〇匁

殺鼠劑配付及探鼠班配置表

四八

船種	殺鼠劑配付數		殺鼠劑調製費
	種類	數量	
小汽船	一五〇	一〇	一〇〇
發動機船	一〇	一〇	一〇〇
補助帆船	一〇	一〇	一〇〇
帆船	一〇	一〇	一〇〇
小計	四〇	四〇	四〇〇
合計	四〇	四〇	四〇〇

備考 一、一班一日ノ配付隻數五十五隻トス

防鼠設備檢查及督勵班配置表

署別	地帯別	倉庫區分	棟數	坪數	住家戸數	配班數
署	三宮署	A	一	一〇	一〇	一
			二	二〇	二〇	二
			三	三〇	三〇	三
			四	四〇	四〇	四
			五	五〇	五〇	五
			六	六〇	六〇	六
			七	七〇	七〇	七
			八	八〇	八〇	八
			九	九〇	九〇	九
			十	一〇〇	一〇〇	十
			十一	一一〇	一一〇	十一
			十二	一二〇	一二〇	十二
			十三	一三〇	一三〇	十三
			十四	一四〇	一四〇	十四
			十五	一五〇	一五〇	十五

小計	兵庫署	同A	同B	同C	同	小計	合計
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一
一	一	一	一	一	一	一	一

備考 一、ABC地帯ヲ通シ防鼠設備完全ト認メラル、甲乙屬スル倉庫ヲ除外ス

ベスト豫防班配置表

區分	班數	係員	水上署		班數	係員
			班數	係員		
區分	三	三	三	三	三	三
	一	一	一	一	一	一
	二	二	二	二	二	二
	一	一	一	一	一	一
	一	一	一	一	一	一
	三	三	三	三	三	三
合計	計	計	計	計	計	計

備考 捕鼠班所要人夫ハ現在配置中ノ者ヲ使用シ三宮署ノ不足三名ハ濠川署ヨリ一名並合署ヨリ二名ヲ充當ス

四九

茲ニ於テ警察官、防疫監吏、市吏員人夫ヲ以テ編成セル捕鼠班、殺鼠劑配布班及探鼠班、設備改善班ヲ編成シ、七月二日ヨリ總數三十一班ニ分チテ倉庫二千六十六棟、二十五萬二千餘坪及住家一萬六千餘戶、並ニ神戸港内第二類船二千二百二十一隻ニ對スル徹底的除鼠ヲ行ヒ又、防鼠設備ヲ改善セシムベク奮勵努力、之ニ當リタリ、而シテ除鼠成績ハ之ヲ日報トシ、防鼠設備改善成績ニ就テハ旬報トシテ之ヲ衛生課ニ報告センメタリ、其ノ形式左ノ如シ

御大禮關係除鼠成績日報

備考	計	鼠 班						捕鼠器使用 殺鼠劑ノ種 類及配付 住倉庫 居倉庫	使用數及 配付個數	除鼠			警 官 監 吏 市 吏 員 人 夫 計		
		六班	五班	四班	三班	二班	一班			A地帶	B地帶	C地帶			
														第三類船	其他
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

防鼠設備改善成績旬報

地帯別	倉庫所有者 若クハ占有者	收藏品ノ種類	改善倉庫棟數	同上坪數	同上改善箇所	溝渠石垣共 必改善箇所	改善ニ要シタル 費額	累計	計

備考 一、本表ハ毎月十日二十日及月末ノ各旬報ニ於ケル成績ヲ計上スルコト

前述ノ如キ方法ヲ以テ連日其ノ作業ニ從事セルガ、日報、旬報ニヨリテ其ノ成績ヲ見ルニ各署共ニ殺鼠劑配布班ハ班其ノ從事員數ハ捕鼠班ノ二倍ナルニ拘ラズ其ノ成績ニ於テ未ダ努力ノ餘地アルモノト推察サル、ニヨリ七月十九日衛通第二四號ヲ以テ通達ヲ發セラレ大ニ督勵スル所アリテ左ノ防鼠設備ノ改善要領ニ基キテ報告ヲナスベキヤウ通知スル所アリタリ、其ノ要領左ノ如シ

防鼠設備ノ改善要領

- 一、沿海地區ニ存在スルモノ及ビ第一ニ外米貨物ヲ收藏スルモノニ重キヲ置キ之ガ實施ニ努ムルコト殊ニ沿岸ニ存在スルモノハ嚴重之ヲ實行スルコト
- 二、穀類、穀粉、豆類、有機性肥料等鼠ノ食料タリ得ル物件並ニ棉花類ヲ收納スル倉庫ニ對シテ之ガ實行ニ努ムルコト、殊ニ暹羅、蘭貢、方面ヨリノ外國米、印度方面ヨリノ棉花ヲ收藏スルモノニ付嚴重ニ之ヲ實行スルコト
- 三、防鼠施設ハ縣令ノ規定ニヨルモノナルハ勿論ナルモ倉庫ノ所在堆積等ニヨリ緩嚴ヲ計ルコト



此ノ如キ注意事項ニ依リテ益々其ノ作業ニ勉メ殺鼠劑ノ如キモ、凡三週間毎ニ其材料ヲ變ジ、或ハ蒸草莖ニ殺鼠劑ヲ混ジタルモノ、或ハ天婦羅草莖ヲ用ヒ或ハ麵粉莖ヲ用ヒ、研究的ニ其ノ除鼠數ヲ統計シ以テ、効果ノ最モ勝レタルモノヲ用キテ除鼠ニ努力シタリ、斯クシテ七月廿五日マデ之ヲ實施シ、除鼠總數十六萬七千四百一十一頭、内細菌學的検査ヲ行ヒタルモノ十三萬八千五百四頭(其他ハ乾鼠又ハ極度ニ腐敗)ニ上リタルガ幸ニ有菌鼠ヲ認メザリキ、又改善シタル倉庫七百七棟、六萬三千五百四十九坪ニシテ改善費一萬三千八百七十七圓六十五錢ナリ  
即チ其ノ結果ヲ集録統計シタルモノ左表ノ如シ

御大禮關係除鼠成績 昭和三年 自七月一日起至十一月二十五日

警察署別	除鼠					合計	細菌検査チバスタ菌細菌検査チ行ヒタルモノノラサレモノハサルモノ
	A地帯	B地帯	C地帯	第二類船	以上計		
三宮署	四八四	三、七〇七	七、七六六		三、七〇七	二、〇九八	二、九八〇
相生橋署	六、七三三	一、六、六三三	一八、五七〇		四、九三六	一、六、八三三	一、六、八三三
兵庫署	一〇、九七〇	三、三三三			三、三三三	二、九一三	二、九一三
水上署				五、七六九		二、五八	二、五八
森合署						二、五八	二、五八
湊川署						一、九八八	一、九八八
林田署						四、七二八	四、七二八
須磨署						三、四〇七	三、四〇七
計	三、七〇七	六、一三五	二六、三三三	五、七六九	二、五八七	五、一三九	二六、四四〇

御大禮關係防鼠設備改善督勵成績 昭和三年 自七月一日起至十一月廿四日

署別	改善豫定倉庫		改善シタル倉庫		改善シタル場所			改善ヲ要スル倉庫		改善ニ要シタル費額
	棟數	坪數	棟數	坪數	側壁	床面	鼠返	金網	其他	
三宮署	一	一〇、一〇〇	五	一、〇〇〇	一	一				六、八五〇
同	一	一〇、一〇〇	五	一、〇〇〇						一〇、五〇〇
同	一	一〇、一〇〇	五	一、〇〇〇						六、八五〇
計	三	三〇、三〇〇	一五	三、〇〇〇	一	一				一三、二〇〇

相生橋署	倉庫			計	備考
	A	B	C		
同	七	七	七	二一	同上
同	七	七	七	二一	同上
兵庫署	一	一	一	三	同上
同	一	一	一	三	同上
同	一	一	一	三	同上
計	一六	一六	一六	四八	同上

除鼠成績一覽表

三宮署	除鼠成績							合計	各種殺鼠劑ニ依ル除鼠數
	七月一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日		
相生橋署	二	三	三	三	三	三	二	二〇	同上
兵庫署	二	二	二	二	二	二	二	一四	同上
水上署	二	二	二	二	二	二	二	一四	同上
合	六	七	七	七	七	七	六	五〇	同上
計	二〇	二二	二二	二二	二二	二二	二〇	一〇八	同上
各週間ニ於ケル除鼠數	二	三	三	三	三	三	二	二〇	同上
各種殺鼠劑ニ依ル除鼠數	二	三	三	三	三	三	二	二〇	同上



三官署	相生橋署	兵庫署	水上署	合計	各週間ニ於ケル除鼠數	各種殺鼠劑ニ依ル除鼠數
五日	三六二	二〇一	三六九	三三三	一、七〇六	五、七〇七
六日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
七日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
八日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
九日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十一日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十二日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十三日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十四日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
十五日	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
合計	三、三三三	一、八〇〇	三、三三三	三、〇三三	一、五〇六	四、九八〇
一日平均	三三三	一八〇	三三三	三〇三	一、五〇六	四、九八〇
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						

三官署	相生橋署	兵庫署	水上署	合計	各週間ニ於ケル除鼠數	各種殺鼠劑ニ依ル除鼠數
三十日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
三十一日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
一日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
二日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
三日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
四日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
五日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
六日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
七日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
八日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
九日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十一日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十二日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十三日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十四日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
十五日	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
合計	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
一日平均	一、〇〇〇	六六六	一、〇〇〇	二、六六六	六、六六六	二〇、〇〇〇
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						
一日平均						
殺鼠劑ニヨル計						

天婦羅辛莖砒酸  
殺鼠劑使用除鼠數  
四十九日間  
計  
二、六六六  
一日平均  
五三三

日	三宮署	相生橋署	兵庫署	水上署	合	計	各週間ニ於ケル除鼠數	各種殺鼠劑ニ依ル除鼠數
二八日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
二九日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三〇日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三十一日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
一月一日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
二日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
四日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
五日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
六日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
七日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
八日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
九日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
十日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
計	三三〇	七〇	三六〇	二〇	一三三〇	二九七〇	八二三〇	一、三三〇

二八日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
二九日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三〇日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三十一日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
一月一日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
二日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
三日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
四日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
五日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
六日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
七日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
八日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
九日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
十日	三三	七	三六	二	一三三	二九七	八二三	
計	三三〇	七〇	三六〇	二〇	一三三〇	二九七〇	八二三〇	一、三三〇

### 第三項 「コレラ」豫防

#### 一、「コレラ」豫防ニ關スル概況

「コレラ」豫防ニ關シテハ内務省發給第二八號(三月二八日)ヲ以テ御大禮衛生施設ニ關スル件依命通牒アリ(別項通牒參照)即チ本年秋冬ニ御舉行アラセラルベキ御即位式並ニ大嘗祭ニ就テ衛生上諸般ノ施設ヲ講ジ萬遺漏ナカラシムルヤウ海外ニ於ケル「コレラ」發生狀況ニ留意シ必要ト認ムル時ハ水上生活者及之ト密接ノ關係アル者ニ對シ豫防注射ヲ勵行スベキコトヲ指示シ來レリ、茲ニ於テ縣衛生課ニ於テハ内外ノ狀況ヲ詳察シ、四月十日午前十時ヨリ警察部長室ニ於テ御大禮衛生ニ關シ當地方擔任ナル内務省衛生局加藤防疫官、井上兵庫縣警察部長、岡田衛生課長、藤村神戸稅關港務部檢疫課長、伊庭野神戸市衛生課長、及三宮、相生橋、水上ノ各署長、中山本縣衛生技師、芦田防疫主任參集ノ上防疫ニ關スル協議會ヲ開催シ「コレラ」防疫ニツキテ左ノ事項ニヨリ懇談協議セリ

#### 一、宣傳ニ關スル件

- (1) 縣市及聯合衛生組合ニテ共時期方法等ヲ適當ニ協議スルコト
- (2) 但シ豫防注射ヲ開始スル直前及同時ニ數回行フコト

#### 二、豫防注射ニ關スル件

##### (開始ノ時期、業態、地域)

- (1) 上海ノ發生狀況ニヨリ大阪、福岡、山口廣島、岡山、香川、徳島、高知等ノ各府縣ト成可ク同時ニ開始スルヤウ加藤防疫官ニ一任ス
- (2) 海上従業者及其家族並ニ之レト密接ナル關係ヲ有スル地域ニ住居スル者ニ對シ第一着ニ實施スルコト
- (3) 直接神戸市其他ニ於ケル水上従業者二萬五千人及其家族約十萬人合計十二萬五千人ニ對シテ先ヅ實施スルコト(但シ漁業者ヲ除ク)
- (4) 前項ノ注射ハ内務省ノ援助ヲ受ケテ注射班二十班ヲ編成シ二ヶ月間ニ實施スルコト